

にぎやかに 100 歳のお祝い

川村マチさん 100 歳の誕生日

川村マチさん（福島・端）が12月15日、100歳の誕生日を迎えました。

川村さんは、明治44年生まれ。60歳ころまで農業に従事し、その後は孫の面倒を見たり、ゲートボールを楽しんだりして過ごしました。

現在は、長男夫婦と孫夫婦、ひ孫と一緒に自宅で元気に生活し、週に2回デイサービスに出掛けて、入浴や体操、レクリエーションなどを楽しんでいます。

この日は、デイサービスを利用している特別養護老人ホームいろは島荘で、家族や友人、施設の人などに囲まれ100歳を祝いました。



市立公民館へガスコンロを寄贈

社団法人 長崎県 LP ガス協会

長崎県LPガス協会が、市立公民館5箇所^{としまる}に最新式のガスコンロ18台とコンロ台1台を寄贈しました。

同協会では、食育プロジェクトとして平成19年度から県内の小・中学校20校にガスコンロ約160台を寄贈。昨年からは地域貢献の一環として教育委員会所管の地区公民館への寄贈も行っています。

12月17日、同協会と同協会松浦支部から7人が教育委員会を訪れ、松尾教育長に目録を渡しました。



まちの話題

Matsuura City Topics

交通事故から子どもたちを守る

大崎小学校

大崎小学校（黒川政信校長）が交通安全優良学校として九州交通安全協会会長表彰を受賞し、その伝達式が12月13日、松浦警察署で行われました。

この表彰は、多年にわたり交通安全教育を推進し、児童の交通安全教育および交通事故防止に顕著な功績があった学校に対して贈られるもの。伝達式では松浦地区交通安全協会の大畑利治^{としはる}会長から同小学校に表彰状と記念品が渡されました。

黒川校長は、「これを機会に、さらに子どもたちの交通安全の意識と実践力を高め、私たち職員も交通マナーの向上に努めていきたい」と話していました。



被災地の復興を願って

松浦市文化協会

松浦市文化協会（福本正樹会長）が12月16日、市役所を訪れ、東日本大震災の復興支援義援金を友広市長へ手渡しました。

この義援金は、市内の各地域で開催された文化祭の会場に募金箱を設置し、参加者や来場者から募金を募り集められたものです。

福本会長は、「少しでも被災地のために役立ててもらえればと思います。1日も早い被災地の復興を願っています」と話していました。



畜産の振興に貢献

市政功労者表彰

氏山政敏さん（御厨・寺ノ尾中、77）と鬼塚利雄さん（志佐・池成（1月8日逝去））が12月22日、畜産の振興における松浦市政功労者表彰を受賞しました。

二人は、長年にわたり和牛振興委員として豊富な経験と知識を生かし、本市の繁殖雌牛の増頭および改良に寄与し、畜産の振興に尽力。第7回県北地域和牛共進会で松浦地区初の総合優勝に大きく貢献しました。



厚生労働大臣表彰

前田智奈美さん

前田智奈美さん（福島・土谷、41）が障害者自立更生等厚生労働大臣表彰を受け、12月20日、松浦市社会福祉協議会福島支所で伝達式がありました。

この表彰は、身体障害者などで自らその障害を克服し、現在自立更生して障害者の模範として認められた人に対して行われるものです。

耳が不自由な前田さんは、県立ろう学校高等部で自立目的の職業訓練の教育を受け、平成3年から伊万里市の(有)魯山窯に絵付師として勤務。会社での信望も厚く、その高い技術力で、後進への指導にも当たっています。前田さんは「障害を持っているので難しい面もありますが、長く勤めることができて、うれしく思います。これからも会社の方々を支えていただきながら頑張ります」と、表彰を受けた喜びと今後の目標を文字で語りました。



国内交流で各町を訪問

【市内小学生が北海道鷹栖町を訪問】

12月23日から28日にかけて、ホークス交流事業訪問団として市内小学生が北海道鷹栖町を訪問しました。

ホークス交流事業による鷹栖町への児童派遣は平成8年から実施しており、今回で16回目となります。

今回訪問したのは、塚本あかりさん、山田結葵乃さん、田中英聖君、山中慶吾君、吉住姫乃さん、高橋亜也子さん。6人は、一面の銀世界に感激しながらスキーやホームステイなどを体験しました。

【市内中学生が北海道福島町と長野県木曾町を訪問】

12月と1月に松浦市・木曾町・福島町生徒学習交流

ホークス交流事業・生徒学習交流事業

事業として、市内中学生が北海道福島町と長野県木曾町を訪問しました。

12月25日から29日にかけて福島町を訪問したのは、吉田大地君、金子恵美さん、志水智紘さん、福井健一君、金内祐壺君、佐竹駿君、黒川将太郎君、川浪さくらさんの8人。滞在中は学校訪問や町内見学などで町民の皆さんと交流を深めました。また、1月13日から16日には、木寺瑛大君、木寺邦大君、永田篤樹君、辻杏さん、川田そらさんが木曾町を訪問しました。5人は、ホームステイやスキー体験などを通して、地元の人と触れ合いながら、充実した時間を過ごしました。

